

優輝

～Starting Over 新たなる旅立ち～

「ご入学おめでとうございます」

第1学年主任 ○○○○(地歴公民)

伊丹西高校42回生の皆さん、皆さんの新しいスタートを心から祝福いたします。

保護者の皆様、お子様のご入学おめでとうございます。

皆さんが今日この席に座るまでには15年の歳月が必要でした。成長には時間がかかります。ある一定の期間を経ないと次のステージに行けません。次のステージに行ったとき、初めて「自分は成長した」ということに気がきます。合格発表の日に皆さんが感じた思いを、ぜひ大切にしてください。

高校生になった今、皆さんは、自ら考え、行動し、反省する。そして、その反省を生かして次へ進む。この経験を繰り返していきます。そんな日常の中で大切にしてほしいことがあります。それは「時を守り、場を清め、礼を正す」というものです。これは、森信三という教育学者の言葉です。

「時を守る」とは、文字通り、時間を守ることです。これは集団生活の基本ですが、同時に相手を尊重することになり、それが周りからの信頼を得ることにつながります。

次に「場を清める」とは、掃除をし整理整頓することです。掃除をすることで気づく人になれます。掃除が習慣化すると汚れているところに気づくようになります。気づくようになると、掃除をし整理整頓してくれた人に感謝の心が芽生えます。そして心が磨かれます。場力という言葉があります。その代表的な場がディズニーランドではないでしょうか。きれいに磨かれた場では気持ちがよく、心を明るくします。

最後に「礼を正す」とは、挨拶をすること、返事をすること、服装を正す、姿勢を正すことです。挨拶、返事をすれば人間関係がよくなります。人より先に挨拶ができれば一級品です。挨拶の「あ」は明るく、「い」はいつも、「さ」は先に、「つ」は続けるを意味していると聞きました。時と場にふさわしい服装や、姿勢を正すことも同じく人間関係をよくします。意欲的に学校生活を送るためにも、ぜひ実践してください。

保護者の皆様にも高校生活が始まるにあたって2つお願いがございます。1つ目は、どんなに忙しくても、毎朝必ず朝食をとれるようにしていただきたいということです。朝食抜きでは、十分な学習活動ができません。健康の維持が学校生活の根幹を支えています。朝、忙しいと思いますが、ぜひご協力ください。2つ目は、お子様と毎日話をしていただきたいということです。お仕事やご家庭の事情で、帰宅時間や食事時間が合わないご家庭もおありだと思います。しかし、学校での出来事や何気ない日常のことでも結構ですから、ぜひ日頃のお子様の活動に関心を持っていただきたい。それが、2,3年生の授業選択や卒業後の進路選択に必ず繋がります。学校からも学年通信などを通して常に情報を発信いたします。どうか、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

<学年通信タイトルについて>

左記の学年通信タイトル「優輝」は造語で、読みは「ゆうき」です。

「優」という字は部首が人偏で、旁が憂です。「憂」は、悲しんでたたずむ人の姿を表す字です。その悲しんでたたずんでいる人の横に、さらに人が寄り添っていることを表す字が「優」という字です。

「輝」という字の「軍」は、周囲を丸くとり囲む様子を示し、そこに「光」という字を掛け合わせ、四方に広がりもった光、いわゆる「輝く」という字が生まれました。

お互いに思いやりを持った行動ができる学年にしたい。そして、その行動が自然と周りを輝かせ、学校生活を充実させていく基盤になってほしい。そういう思いを込めたタイトルであるということ、この場を借りて少し紹介させていただきました。

<ホームページの活用について>

伊丹西高校のホームページでは、警報発令時の休校連絡などでも活用することがあります。今後、コロナウイルスの影響で、ご家庭との連携が重要になるかと思いますが、ホームページも是非ご活用ください。また、入学式も簡素化することになり、ゆっくり桜も眺めることができなかつたと思います。写真は伊丹西高の桜です。42回生の入学を祝うように満開に咲きました。この学年通信はホームページでも掲載していますので、是非、カラー写真の方もご覧になってみてください。



<コメントについて>

この学年通信が保護者の方々との連携ツールになればと思い、コメント欄を設けてみました。読んでいただいた感想や、質問など何でも、一言コメントを記入して、お子様に持たせてください。預かったコメントについての返答は、次の学年通信に掲載します。コメントの記入はもちろん任意です。一言「読みました。」だけでも記入して頂けると嬉しいです。

・・切り取り・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

【コメント記入欄】

1年 組 番 氏名 _____

42回生学年団紹介&挨拶

副主任 ○○○○ (保健体育)

春季休業中の登校日で、42回生の雰囲気は少しだけ感じとることができました。全体的に明るく、落ち着いた印象でした。そして、皆さんは笑顔で挨拶を返してくれました。そんな42回生と一緒に送るこれからの西高ライフがとても楽しみです。まずは、皆さんが安心してスタートできるようサポートします。そして、楽しい西高ライフを実現していきましょう。

学年付 ○○○○ (国語)

ご入学おめでとうございます。「為せば成る」という言葉を知っていますか？最初から諦めずに頑張れば夢は叶います。そのために、高校での3年間で何か1つでも多くの新しいことに挑戦してみてください。素敵な大人に成長することを願っています。

1組担任 ○○○○ (数学)

ご入学おめでとうございます。これからの高校に通う日数はおよそ1,030日です。長い時間にも感じますが限られた時間でもあります。“この限られた時間で何をしてきたか”でそれぞれの経験値は変わってきます。是非、自らを忙しくし、たくさんの経験値を積んで下さい。1,030日後の自分がどう変わるのかを楽しみにしていきましょう！

2組担任 ○○○○ (地歴公民)

『一期一会』42回生のみなさんと過ごすその時、その瞬間を大切に、みんなが楽しく安心して過ごせる高校生活をつくっていきたくと思います。そしてみなさんもこの伊丹西高校の3年間で、様々なことに挑戦し、成長して行ってほしいなと思います。辛いとき、悩んだときはいつでも相談してください。くだらない笑える話も大好きです！よろしくお願いします！

3組担任 ○○○○ (理科)

42回生の皆さん、ご入学おめでとうございます。この伊丹西高校に入学して皆さんがやりたいことは何ですか。また、それはできそうですか。こういった類のものは、基本的にできると思えばできるし、できないと思えばできません。目標を持ち、それに向かって努力と忍耐を継続し、有意義な3年間にしてください。それを全力でサポートしていきたくと思います。よろしくお願いします。

4組担任 ○○○○ (国語)

「やったことない」けど、「やってみたらできること」って、結構多いです。ぜひいろんなことに挑戦してください。やってみてできなかったら、どうしたらできるか一緒に考えて、もう1回やってみましょう。1人でできないことは、誰かとやる。助け合って、応援しあって楽しく成長していきましょう。サポートします。

5組担任 ○○○○ (英語)

いきなりですが、私が今のこの仕事に就こうと決めたのは高校1年の終わりでした。中学までは英語が得意でも、好きでもなく、むしろその逆でしたが、高校に入って色々あって今の道を志すことになりました。高校生活に限らないことですが、きっかけはどこにあるかわからないものです。みなさんの“きっかけづくり”を手伝えたらなと思います。よろしくお願いします。

6組担任 ○○○○ (数学)

今年から伊丹西高校に着任しました。3年間の高校生活を充実したものにするには、自分で考えて動く“考動”が大切になります。中学校までと違い義務教育ではないので、自分から色々なことに挑戦してみてください。皆さんのサポートができるよう頑張ります。よろしくお願いします。

7組担任 ○○○○ (家庭)

ご入学おめでとうございます。なりたい自分になるために、「素直であること」、「好奇心を忘れないこと」を大切にしてほしいと思っています。理解できたことは体験することで力になると思います。様々な体験も大切に「楽しく」一緒に学びましょう！

【その他の連絡事項】

- ・4月9日(木)に予定していた芸術教科書販売は「密」を避けるため、行いません。学年費でまとめて支払い購入します。教科書は、後日担任から配布します。
- ・自転車保険証明書類の未提出があれば、次の登校日に提出してください。
- ・スタサポと課題考査は、今のところ休校明けに実施予定です。また課題(英国数)の提出についても休校明けとなります。各自、課題に取り組んでおくようにしてください。
- ・当初予定していた、身体測定は2学期以降に変更となりました。
- ・休校中の過ごし方として、不要不急の外出を避け、体調管理には十分気をつけること。

以上の内容は、本日のHRでも連絡しましたが、改めて学年通信でも記載させていただきました。入学早々に休校が続く状況で、なるべく連絡が滞ることがないようにしたいと思います。今後の連絡は、登校日での指示が中心となります。また、ホームページでの連絡も行いますので、こまめに確認をお願いいたします。ご家庭で、ホームページを閲覧できない環境があれば申し出てください。こちらから必要な連絡をいたします。それ以外でも、不明な点があれば、いつでも学校にご連絡ください。(伊丹西高等学校：072-777-3711)